

# 北海道浮魚ニュース

令和元（2020）年度 15号

2020年8月31日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎第1回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

8月31日、漁業情報サービスセンターより、第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域を対象とした2020年9月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部

[\(https://www.jafic.or.jp/information/category/news/\)](https://www.jafic.or.jp/information/category/news/)

### 今後の見通し（2020年9月）

対象魚種：スルメイカ

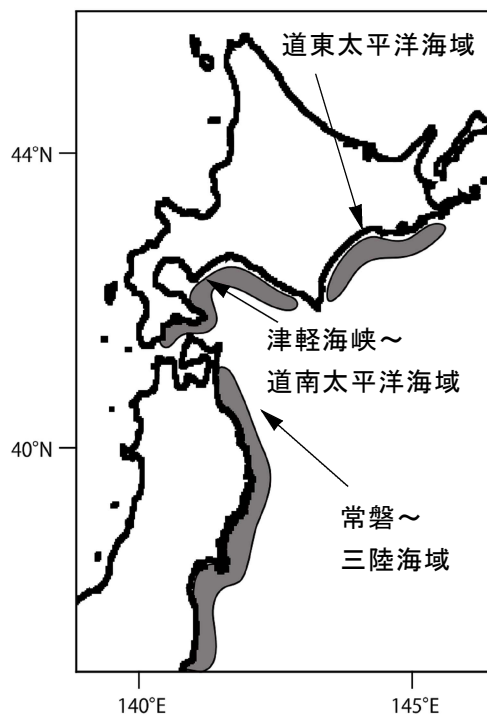
対象海域：太平洋（常磐～三陸海域、津軽海峡～道南太平洋海域、道東太平洋海域）

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群（2020年級群）

- ・道東太平洋（いか釣り、底びき網）：来遊量は前年を上回る。漁場形成は散発的となる。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域（いか釣り、定置網）：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域（いか釣り、底びき網、定置網、まき網）：来遊量は前年を上回る。対象期間を通じて漁場となる。

※文中の「前年」は2019年のことです。



・漁況は、2020年7月29日に発表された第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報（浮魚ニュース第9号参照）、及び、その後の各地の漁況経過、調査結果等から予測されました。

・道南太平洋海域については、第1回漁場一斉調査（釧路水試分は浮魚ニュース第5号参照）で常磐～三陸海域の分布密度は前年を上回り、6月～8月中旬の漁獲量は前年を下回ったものの、今後來遊が増加する可能性があることから、9月の来遊量は前年並と予測されました。

・道東太平洋海域については、水温は全体として平年より高く推移すると予想されています。8月までの漁獲量は前年同様に低調だったものの、沖合調査での有漁点の割合が高かったことと、釧路水産試験場によるイカ類南下期資源調査（浮魚ニュース第14号参照）での平均分布密度が前年を上回ったことから、9月における来遊量は前年を上回ると予想されました。ただし道東太平洋での漁場形成は昨年同様に散発的になると考えられます。

（釧路水産試験場調査研究部 TEL：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）